

ボランティア・協働情報紙 ～まなびとボランティアをサポートする～

第97号

令和6年3月
発行

まなぼら



Contents

特集

慣れると便利！使ってみようデジタルツール

元気人

防府保護区保護司会 齋藤 清子さん

防府市生涯学習課のイチオシ

- 二十歳のつどい青少年ボランティアの活動をご紹介します♪
- 報告♪ほうふ幸せます人材バンク

防府市社会福祉協議会のイチオシ

- 今年も市民手話講習会始まりました！
- 収集ボランティア活動実施

防府市市民活動支援センターのイチオシ

- 防府市市民活動支援センター開設 20 周年
市民活動団体交流会

特集

慣れると便利！使ってみようデジタルツール

近年、生活を取り巻く環境においてデジタル化が急速に進んでいます。コンビニや飲食店での電子決済、スーパーや衣料品店のセルフレジ、公共交通カードのICカード利用など、デジタル化は私たちの生活の一部になってきています。また、小学校で始まったタブレットを使用した授業やスマートフォンの普及によってあらゆることが誰でも簡単にできるようになってきました。

「これまではデジタル機器を使ったことが無かったけど、どういった使い方があるのか知りたい」「まだデジタル機器を使うことに抵抗がある…」などと感じていらっしゃる方々へ、今号ではデジタル化によって便利になっていることや利用方法、実際に使った人たちからの声、デジタルとの付き合い方などをご紹介しますと思います♪



災害ボランティア活動の受付が 手書きから二次元コードの読み取りに！？

県内外の災害ボランティアに会社職員と共に行かれている村田(株)の村田真美社長は、ボランティアの受付が手書きではなく二次元コードからの読み取りになっていることに、とても便利さを感じられたそうです。「とにかく手続きがスムーズで、受付を済ませると次の手続きにすぐに進めることが良く、時代はデジタル化に進んでいるので、年齢関係なく便利さを一度感じてほしいです。また、デジタル機器活用によってボランティアセンターの負担軽減にもなりますね。被災者支援につながる、それが本当のボランティアです」と話されます。



いつもボランティア活動にご協力いただき、ありがとうございます。

ZOOMの使い方を知って・・・

防府リボンの会

乳がん体験者やその家族が集い、日常生活の治療についての相談や話し合いなど、一人で悩まず一緒に考える集いを開催する団体。

代表の宿谷^{しゅくたに}さんは、

「現在は電話で相談を受け付けていますが、場所を選ぶことなく相談ができるような体制を整えられるかもしれないと思い、ZOOMの講習を受けました。インターネットがつながる場所で、スマートフォンを使って顔を見ながら相談をしたり、他の団体との交流や情報交換をしたりできるのはとても便利だと思います」と話されていました。

ZOOMの使い方を知ると
活動の幅が広がってくるんだね

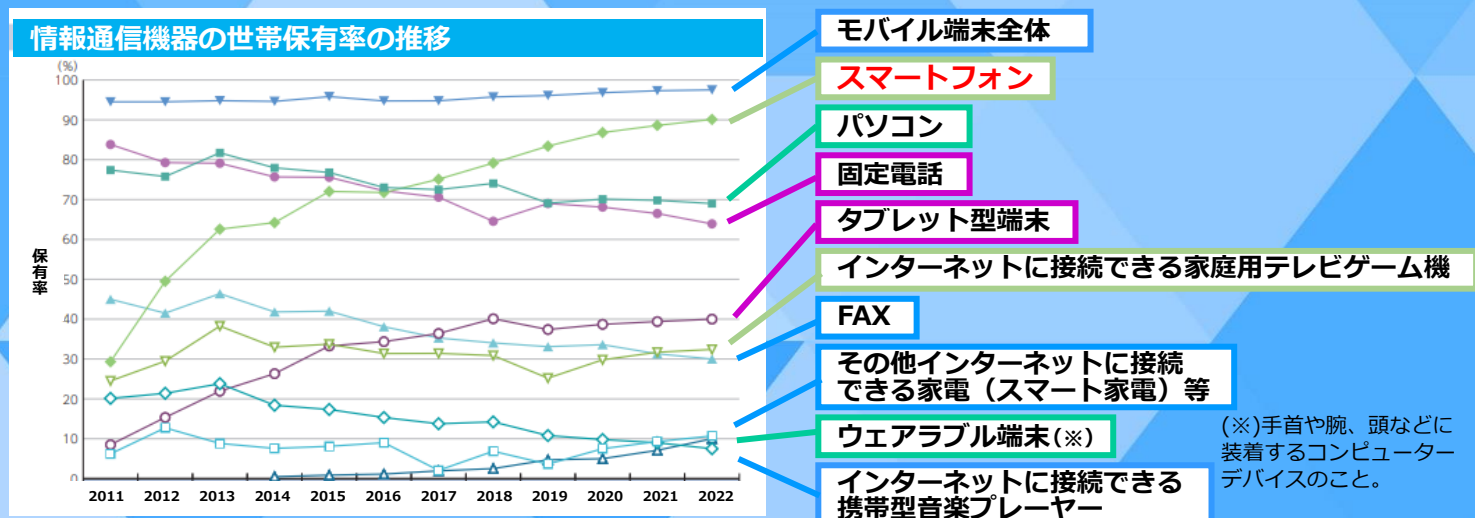


デジタルに潜む危険！！

デジタルを活用する中で、特に気を付けなければいけないのは、**個人情報**の取り扱いです。大切な情報をどう管理するのか、画像を掲載する場合は著作権の問題がないか、本人の承諾を得たのかななどを必ず確認する必要があります。デジタルを使用する危険性を理解した上で、使用することがとても大切です！

デジタル機器の使用状況とは

デジタル機器をどれくらいの方が保有し、使用しているかを示すデータとして次のようなデータがあります。



令和 5 年度情報通信白書（総務省）によると、情報通信機器の世帯保有率は全体で 90%を超え、中でもスマートフォンは 11 年前の 2011 年と比べ、2022 年は約 60%も増えています。

主催イベントでデジタルツールを活用！

生涯学習課が行っている『二十歳のつどい』や『生涯学習フェスティバル』などのイベントでは、チラシ・ポスターの作成にデザイン作成ツールを使用したり、二次元コードを使って申込みができるようにしたり、イベントの感想や振り返りを『LoGo フォーム』で回答ができるようにして、参加する方がイベントに参加しやすくなるよう工夫をしています！

デジタルツールを活用すると
運営側の仕事も効率的になるよ！



“フォーム作成ツール”を使って アンケートの入力 & 集計ができる！

研修会や講演会に参加した時に、WEB 上でアンケートに答えた経験はありませんか。そうしたアンケートの入力でよく使われるのは Google フォームやフォームズといった“フォーム作成ツール”です。このツールを使うと、リアルタイムでアンケート結果を集計したり、グラフを作成したりすることができます。

他にも自動返信メールを設定したり、在庫確認の管理をしたりなど、様々な機能があります。用途によって使いやすいツールを見つけて活用してみませんか。

アンケートの自動集計機能は
とても便利だね！



最後に

今回の特集では、デジタル化されているものやツール、を使っている方や、初めてデジタルを使われた方の感想などをご紹介しました。「スマートフォンを使って」と聞くと、やってみるのは難しいかもしれないと苦手意識を持つ方も多いと思いますが、使い方を知ることによって意外と簡単にできるかもしれませんよ。デジタル活用に一歩踏み出してみませんか。

詳しく話を聞きたい、相談してみたい
と思った方は、お気軽に 3 機関へご連絡く
ださい♪（連絡先は 7P 参照）



齊藤清子 Saito Kiyoko さん



防府保護区保護司会

保護司は、犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支える民間のボランティアで、現在、防府市には51名の保護司が在籍しています。今回は、『防府保護区保護司会』の会長をされている齊藤清子さんにお話を伺いました。

Q 保護司をされることになったきっかけは？

もともと中学校でPTA活動や心の教室相談員をしていましたが、当時の保護司会の会長から声をかけていただく機会があり、それがきっかけで保護司を始めました。

Q 保護司とは具体的にどのような活動をされているのですか？

保護司は、犯罪や非行により保護観察を受けることになった方の生活を見守り、さまざまな相談に乗ったり、指導・助言をしたりしています。

また、『社会を明るくする運動』(※)をはじめとした啓発活動や巡視活動など、犯罪を予防するための地域活動などにも、関係機関・団体と連携して取り組んでいます。

Q 保護司という立場から伝えたいことはありますか？

安全・安心な地域を作るためには、罪を償い、再出発しようとしている人たちを地域で支える更生保護が重要です。

市内には、犯罪・非行歴のため仕事に就くことが難しい人たちを、その事情を理解した上で雇用

して立ち直りを支援する『協力雇用主』の皆様や、女性の立場から地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成の活動などを行うボランティア団体の『更生保護女性会』の皆様など、さまざまな立場から見守り、更生を支援する活動をしておられる方々が多くいらっしゃいます。このような活動に御理解をいただき、お力添えをしていただければ幸いです。

Q これまでの活動や今後の活動についてコメントをお願いします！

約20年間保護司を続けてきましたが、相手に寄り添うことが大事だと感じています。また、保護司以外にもいくつか活動していますが、人と会うこと、何かをやり続けることを特に大事にしています。元気の秘訣は「よく寝て、よく食べること」。これからも人との関わりを大事にしながら元気に活動していきたいと思います！

(※)『社会を明るくする運動』とは

犯罪・非行の廃止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、力を合わせて明るい社会を築こうとする運動。

防府市生涯学習課



二十歳のつどい青少年ボランティアの活動を紹介します♪

去る1月7日(日)、防府市二十歳のつどいが三友サルビアホール(防府市公会堂)で開催されました。今年度は、初めての午後開催やキッチンカーの出店などの新たな試みを取り入れ、「参加者の目線に立ったイベントにしたい」という思いで事務局スタッフ一同が準備を進めました。二十歳前後の若者11人で結成された『二十歳のつどい実行委員会』のメンバーに加え、高校生を中心とした17人の『青少年ボランティア』も当日運営のサポートを行いました。

受付で行う抽選会の景品交換や、会場外での声かけ、写真撮影、クイズコーナーのサポートなど、それぞれの活動を通じてスーツや振袖を着た参加者と積極的に関わる姿が印象的でした。

青少年ボランティアの方からは、「うれしそうな参加者を見て幸せを感じました」「数年後に参加するのが楽しみにになりました」「きれいな振袖やスーツ姿を見ているだけでも楽しい気持ちになりました」などの声が聞かれ、『未来の自分たちの晴れ舞台』に思いを巡らせているようでした。



報告♪ ほうふ幸せます人材バンク

指導者バンク登録講師 松田 秀子さん

2月13日(火)、『指導者バンク』に登録されている松田秀子さんが、華城公民館の高齢者教室に講師として行かれ、受講生のみなさんと一緒に懐かしい歌を歌って楽しむ講座が開催されました。

松田秀子さんは、今年度、『指導者バンク』のボランティア講師としての活動回数の累計が100回を超え、『まちの達人しあわせ賞』を受賞され3月3日(日)の『生涯学習フェスティバル』で表彰されました。

この日も、トレードマークのオレンジ色のファッションで、ギターを弾きながら懐かしい童謡、唱歌、フォークソングなどを歌われました。受講生も一人ひとりに配られた手作りの『2月のうたぼん』を見ながら一緒に歌われていました。また、合間のトークも楽しく、歌の時代背景や歌詞の説明などもあり、聴いているとその歌の情景が浮かび上がってくるようでした。

松田さんにお話を伺うと、「とにかく歌が大好きで、みんなと一緒に歌いたいという気持ちが活動の原動力になっています」とのことでした。

受講者のお一人は、この日の松田さんの歌を録音されており、「主人を亡くして寂しい毎日です。一人の時に松田さんの歌を聴いたら前向きになれるのではと思い録音させていただきました」と話しておられました。





今年も 市民手話講習会始まりました！

1月31日（水）に、手話に関心がある方や基本を学びたい方を対象に、市民手話講習会〈入門編〉が開講しました。昼の部の講師は、『防府手話同好会』と『防府市聴覚障害者福祉会』（以下、聴障会）、夜の部の講師は、『防府手話サークル梅の会』と聴障会が務めました。

1回目は「身振り、挨拶、名前の紹介」を学習しました。皆さんメモを取りながら懸命に学ばれていました。参加者の学生さんが、「看護師・助産師を目指す中で、聴覚障害者の方々が妊婦さんとして来院した時に手話を使ってコミュニケーションを取りたいと思い参加しました」との声がありました。

講座のスケジュール

2回目	数字を使って話しましょう
3回目	家族を紹介しましょう
4回目	趣味、仕事について話しましょう
5回目	あなたの家を紹介しましょう
6回目	閉講式、自己紹介



※『防府手話同好会』・『防府手話サークル梅の会』については、お気軽に市社会福祉協議会までお問合せください。

収集ボランティア活動実施

ひとりでも、身近なところから気軽に始めることができるのが収集ボランティア活動です。市社会福祉協議会では、下記の収集を行っています。集められたものは、市社会福祉協議会事務所までお持ちください。

※切手は日付が見えるように切り取りをお願いします。



収集するもの	収集ポイント	使いみち
エコキャップ	金属類は入れない よく洗って乾かす	地域福祉活動（福祉教育用アイマスクや赤ちゃん文庫）で活用
使用済み切手	消印がわかる状態で1センチ程度の範囲で切り取る	
書損じはがき	消印が押されていないものが対象	



※プルタブ収集は2023年3月31日をもちまして終了しました。

防府市市民活動支援センター



防府市市民活動支援センター開設20周年 市民活動団体交流会

第一部 中学生・高校生・大学生との連携・協働を報告しました♪

センター長あいさつ



第一部は、センター長あいさつから始まりました。多くの方にご来場いただき胸が躍ります♪

報告1



市民活動団体との活動を防府商工高校の生徒 3 名が報告しました。

報告2



乳幼児ふれあい体験を通した私立高校との連携を報告しました。

報告3



ボランティアマッチングでの活動を高校生・大学生へインタビューです！

グループに分かれて



「もっと詳しく知りたい！」と学生 1 名に 6 名の大人が質問！しっかりと思いを話す学生の姿が印象的でした。

当日の様子は『グラフィックレコーディング』という手法を使い、内容をまとめています。お時間がありましたらルルサス防府 2 階メインロビーにて、ぜひご覧ください！



第二部 市民活動団体×まちづくり×文化観光のトークセッション

第二部では、周南公立大学の地歴研究会が『防府市の歴史と「教材探求」の実践について』の活動発表をした後、『市民活動×まちづくり×文化観光』のトークセッションを行いました。登壇者の 3 名からは、「高校生、大学生だけでなく、中学生や小学生など、お互いが学んだことを伝え合う機会があるといい」「防府市は、建物が残っていることが素晴らしく、日本史を学ぶ上で素材がある。自分の身近なところから楽しんでもらいたい」「保護者が、いろいろなところへ子どもを連れて行って防府市を知る機会が増えるといいなと思う」など、防府市の文化観光の発展を期待してさまざまなアイデアが話されました。



後半は、『防府で私のこだわりポイント』を 1 つ挙げ、グループごとに交流を行いました♪

ご参加くださった皆さん、ありがとうございました！

◀参加者交流タイムの様子



▲左から、市民活動支援センター長 京井、NPO 法人文化遺産トラストほうふ 副代表理事 三戸さん、周南公立大学 経済学部 准教授 小林先生、防府市観光振興課 平井さんが登壇。

「前回の記事のお詫びと訂正」
協同重機様の記事について誤りがありました。
(誤)ホテルのタベの開催
(正)ホテルのタベ実行委員会の事務局運営
関係者の皆様にお詫びし訂正させていただきます。

information

時 間 場 所 内 容 対 象 人 定 員 ￥ 参加費 持 持参物 申 申込み 問 問合せ

3/24
(日)

話し合いをより円滑に！会議には必須のスキル！
ファシリテーター講習会

時 10:00～12:00

場 市地域協働支援センター 研修室 2

内 会議や話し合いで陥りやすい問題の解決策として、話し合いの進め方を学びます。

講師：NPO 法人やまぐち県民ネット 21 理事・事務局長
船崎 美智子さん

対 このテーマに関心のある方 人 15 人

￥ 無料 申 3月23日(土)まで

問 市市民活動支援センター

3/14
(木)

ボランティア入門講座

時 13:30～15:30

場 市文化福祉会館 3 階 8・9

内 講義「日常から始められるボランティア」
ボランティア団体との交流会

対 これからボランティア活動を始める予定の方。

人 15 人 (応募多数の場合抽選)

￥ 無料

申 3月7日(木)まで

R6 募集締切
3/31
(日)

令和6年度
きらめき活動助成事業

ただいま
募集中!

自立支援
ゆめプログラム
団体の立ち上げや自立を支援

課題解決支援
はなプログラム
地域や社会の公益的な課題の解決を支援

文化芸術支援
つむぎプログラム
秋吉台国際芸術村を舞台とした文化芸術活動を支援

申 問 HP から申請書をダウンロードし、必要事項を入力して申請。(公財)山口きらめき財団
TEL (083) 929-3600



3/24
(日)

要約筆記公開講座

時 13:00～15:30

場 市文化福祉会館 3 階 9 号

内 要約筆記って何？
体験会、携帯用ホワイトボード作り

対 どなたでも参加可

※お子様同伴の場合、学年や年齢を伺います。

￥ 無料

申 3月15日(金)まで

問 市社会福祉協議会地域福祉係まで

令和
6年度
毎週土曜日

ユネスコ英会話教室
こども英会話教室

時 A 低学年クラス 13:30～

B 高学年クラス 14:30～

場 市文化福祉会館

内 英語に親しみ楽しむ

対 小学生 人 各 10 名

￥ 3,000 円/月

ユネスコ会費 (要入会) 年会費親子で 3,500 円

申 防府ユネスコ協会事務局

問 TEL (0835) 26-6851 (月・木)

令和
6年度

防府市子ども会
「ジュニアリーダーズクラブ」会員募集

内 野外活動、交歓会、研修会、ボランティア活動で、いろいろな学校のお友だちができます。

対 中学生・高校生

申 防府市子ども会育成連絡協議会事務局

問 TEL (0835) 26-6852 (月・水・金)

編 集 後 記

『まなぼら』は、3機関が協働で編集している情報紙です。
発行月は6月・9月・12月・3月です。

先日、120年に一度しか咲かないと言われる『竹の花』を初めて写真で見ました。この花が次に咲く120年後の世界はどうなっているのでしょうか・・・すごく気になります。(N)

職員の親睦球技大会に向けてソフトバレーを練習中ですが、学生の部活に戻った気分です。職員同士、スポーツを通して交流する中で業務外の顔を見ることができ、大事な時間だと感じています。(M)

カフェ巡りが好きですが、詳しいメニューや店休日などは SNS を見ないとわからないお店が増えてきた気がします。まずは、アカウントを作って、素敵なお店を探すことから始めてみようかな。(Y)

防府市教育委員会教育部生涯学習課
生涯学習相談コーナー

〒747-0026

防府市緑町 1 丁目 9-2

防府市文化福祉会館内 1 階 10 号

(0835)23-3015

(0835)38-8131

shougai@city.hofu.yamaguchi.jp



防府市社会福祉協議会
(ボランティアセンター)

〒747-0026

防府市緑町 1 丁目 9-2

防府市文化福祉会館内 1 階 14 号

(0835)22-3907

(0835)25-1388

fureai-net@hofushishakyo.jp



防府市市民活動支援センター

〒747-0035

防府市栄町 1 丁目 5-1

笑顔満開通り ルルサス防府 2 階

(0835)38-4422

(0835)24-7733

shimin@hofu-saport.org

